



学校だより NO. 27
令和5年3月10日
帯広市立広野小学校
文責 校長 新川 和範

Obihiro City Hirono Elementary School



東日本大震災から12年

明日、3月11日に、東日本大震災から12年を迎えます。改めまして、この大震災にて亡くなられた皆様に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様、関係する皆様へ、お見舞い申し上げます。

さて、NHKのホームページに「東日本大震災 3.11 伝え続ける」というサイトが開設されています。その中に、「災害の教訓を伝える～備えたことしか、役には立たなかった～ある官僚達の震災～」があります。

当時、東北地方整備局長の陸・海・空を管轄する国土交通省の出先機関のトップであった徳山日出男さんは、「あのときの機転だけでできたことなんて、一つもなかったんですよ。備えていたことしか役には立たなかった。災害が起きる前にどれだけ準備できていたか、というのが非常に大きかったです」と、震災が起きる前までの「備えが」その当時の判断を支えていたという旨の話をされていました。

最近、八広地域でも、強風による家屋の倒壊や停電、倒木など、自然災害の脅威にさらされています。昨年12月にも、短時間ではありましたが、冬期間かつ大雪時の停電が再び発生したのは、記憶に新しいところであると思います。

その後のコミュニティ・スクール協議会でも、帯広市と連携しながら、考えられる備えを進めるとともに、大雪や強風といった状況を発信しつつ防災につなげていくことが急務であるといった意見をいただきました。

防災教育につきましては、「学校防災のための参考資料『生きる力』を育む防災教育の展開」（文部科学省）等々に示されている、防災管理や防災教育の課題を解決するため、本校でも普段の授業や出前授業などに取り組むとともに、避難訓練を実施しておりますが、新年度は、新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきたことから、八広コミュニティ・スクール協議会や連合町内会の皆様のご協力を賜りながら、地域や保護者の皆様と連携した、防災訓練を中心とする取組を予定しております。

あれから10余年。徳山さんは国土交通省を退職し、現在は、震災の教訓を伝える活動を行っているそうです。「今の災害でも『想定外だった』『被害情報がないから初動が遅れた』とよく聞きます。でもそれは10年前に日本が経験したこと。震災の教訓は何だったのか、教訓を生かすためには何をしておく必要があるのか。これらを考えることからしか、災害への備えは始まらないと思います。だから私は自分が経験したことを伝え続けていきたい。」…

皆様方におかれましては、改めまして、自然災害に対する理解を深め、発生時の行動について、ご家族で話し合わせ、十分な物質的かつ心理的な備えの準備をしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

卒業制作開始

今年度も遠藤木工（ホームページ：<https://enmoku.com>）の職人さんを講師としてお招きし、卒業制作が始まりました。今年度も昨年度と同様、掲示板を作成しています。これは、現在、廊下に仮掲示している明治時代から続く八広地域の発展を支えてくださった卒業生の皆様の名簿を掲示するためのものです。

卒業生児童が、先人の皆様のために掲示板を作成し後輩たちに残していくという取組は、八広の人と人とのつながりの大切さを感じさせる大変素晴らしいものだと考えております。

卒業生のみなさんは、早速、講師の方と完成時のイメージを共有したり、道具の使い方を練習したりして、完成に向けて作業に取りかかりました。完成がとても楽しみです。



6年生を送る会開催



3月7日(火)の3時間目に6年生を送る会を開催しました。昨年度までは、オンラインで行っていましたが、今年度は、対面での実施となりました。そのようなこともあり、6年生に喜んでもらうために、在校生の皆さんは、積極的にさまざまな催し物を考え、準備を進めていました。



さて、櫻井 凜さん、堀 唯穂さんの司会進行で始まった6年生を送る会ですが、卒業生の入場につき、実行委員長の挨拶の後、早速1、2年生の出し物が始まりしました。

1、2年生は、テレビでお馴染みの「逃走中！」です。逃げ手の児童は、鬼に捕まらないように、素早く走り、必死に逃げようとする様子が伝わってきました。見ていだけでもドキドキして、とても楽しく素晴らしい企画でした。その後1、2年生は、6年生に感謝の言葉を伝えました。



3、4年生は、グループごとに学校にまつわるクイズを行いました。6年生が解答者となり、迷いながら答える姿が印象的でした。また、正解を伝えた後に3、4年生はタンバリンやマラカスなど楽器を使って盛り上げ、その姿に児童の笑い声が体育館中に響いていました。

5年生は、「答え一致ゲーム」を行いました。6年生にお題を出し、全員の答えが一致すると成功です。「学校生活で一番の思い出は」のお題に対して、全員が「修学旅行」と答えていました。また、「中学校で一番楽しみなことは」では、全員が「そば打ち」と答えていたのが印象的でした。

6年生にお題を出し、全員の

6年生は、在校生に手紙を渡し、一人一人が中学校生活の抱負と在校生への感謝の言葉を伝えました。



6年生を送る会を通して、在校生も卒業生も互いに感謝の気持ちを伝え合うことができ、とても心温まる会となりました。

全体の進行をしてくれた5年生のみなさん、本当にありがとうございました。

がんばる広野っ子 ~日本漢字能力検定合格!!

日本漢字能力検定協会が主催する、令和5年度第3回漢字能力検定にて、伊藤美歩さんと堀尾あかりさんが5級に、堀 唯穂さんが7級に、酒井温子さんと三島龍也さんが8級に、堀 巽さんが10級にと、それぞれ合格しました。

みなさん、よく頑張りました！おめでとうございます。引き続き、しっかり取り組み、力をつけていきましょう!!

